
熱々肉まん物語/沖神

琴椿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱々肉まん物語／沖神

【Nコード】

N0453J

【作者名】

琴椿

【あらすじ】

冷たい風が吹くなか、神楽はあつたかい肉まんを、あつたかい彼を待っていた。

(前書き)

肉まん…(笑)

わたくしはどっちかというとあんまん派…

「さつぶうッ!!」

吹き抜ける風が、神楽の身体をつらぬいた。

「ううゝ遅いアルなあゝ!!」

こんな寒いなか、普段なら絶対に外にでるわけではないのだが、神楽は外で長い時を過ごしていた。

…それは。

「…冷え性ですかイ??」

「…ッサド…ッ!!」

…彼を待っていたから。

「なんだア?まるで俺を待っていたかのよーな態度だなア…」

「べ、別にッ!!お前なんか待ってないアル!!」

「へエ…そうかい」

…コイツッ!!

「しっ、しいて言うなら肉まん奢ってもらいにネ!!」

「…肉まんって。」

沖田は自分のポケットを探ってみる。

「…一個分しかねエ。」

「なんだヨ!お前、所持金肉まん一個分って、ありえねエダロ!!」

「ちっ、それならガム買った方がいいでさア」

ブツブツ言いながらも公園の前にある駄菓子屋へ向かう沖田。

…サドだけど、生意気だけど、彼は優しい。すごく優しい。

「…だから…好きネ」

思わずつぶやいたこの一言。

「…何が??」

「…!!」

聞かれたッ!!!

「沖田が」と言っただけではないが、それでも恥ずかしかった。
「に…肉まんがッ!!」

「…ふッ」

「…なにがおかしいネ」

「んーにや別にイ」

「…それより早くよこせヨ、肉まん。」

神楽は沖田の手から熱々の肉まんを奪い取った。

「…火傷するゼイ??」

「あづッ!!??」

「ほら、言っただろイ??」

沖田はそんな神楽を横目に、食べかけの肉まんにかじりついた。

「…食べかけアル」

「んア??別に気にしない」

…気にしろヨ。

神楽は肉まんと沖田を睨んだ。

さつき火傷した舌がじんじんと痛む。

「いはあい…」

「…どこ火傷したんでイ」

「べろお…」

「…つたく、バカだなオメーは…。」

神楽はいろいろと世話を焼く沖田を見て小さく笑った。

「…何？」

「…兄ちゃんみたいネ」

「俺末っ子ですゼイ」

「きょーだいいるアルか！？ぜひともその顔を拝んでみたいものアル！！」

「…もういねーよ」

神楽から笑顔が消えた。

…彼がさびしそくに笑ったように見えたからだ。

「…ごめんアル」

「は？何が？」

「い…いやッ、あんまり聞かれたくないことみたいだったから…。」
「…別にいいよ」

「…」

「…」

空気が重くなるのを感じる。

「あ…あちち…」

神楽はなんとか空気を切り替えようとした。

「…まだいてーの？？」

「唇もひりひりするネ」

「…はア。こっちこい…」

…??

しづしづ近づく神楽。

ちゅ。

「んッ、ぶッ／＼／」

「…やりイ」

「なッにするアルこの変態ッッ!!」

「薬」

「…ねえ。」

「あッ??」

「姉ちゃん? 兄ちゃん? …と何あつたか知らないけど…」

「…チャイナ??」

「い、一緒に肉まん食べるアル!!」

肉まん食べればどんな悲しいことも忘れられるネ、きつと!!

銀ちゃんもトッシーもゴリも、みんないるネ!! みんなで食べる肉まん…きつとおいしいアル!」

…言っていることはむちゃくちゃだけど、神楽の笑顔は眩しかった。

「んゝなかわいいこと言つてると、もつかいちゅーしちゃうぞオ…」

神楽は顔を真っ赤にしながらバーカ、と言い笑った。

その後わけもないにらめっこが続き…。

二人がもう一度唇を重ねたのは言うまでもない…。

(後書き)

…あんまんチンしよう!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0453j/>

熱々肉まん物語/沖神

2011年10月6日05時37分発行